

3月17日「市民の会」と介護保険課・高齢者福祉課等で懇談

芳川の里も加入する「介護・医療と社会保障を考える市民の会」は前回 9/17 に続き、3/17 市介護保険課・高齢者福祉課・障害福祉課と懇談。その一部を紹介します。

○非常用外部バッテリー・発電機購入費用を吸引機・酸素濃縮器にも広げることを今後検討していきたいとのこと、その後どうになりましたか。

市の回答：避難所での非常用電源使用の話はされ、購入補助に触れず。

意見：自宅での吸引機・酸素濃縮器の使用のために要望していると再度説明し、検討要請。

○浜松市が昨年実施した介護施設へのアンケートの結果、どんなことが分かりましたか。

回答：事業所があげた課題は①人材の確保、②利用者が集まらない、③報酬が低く経営が厳しい。サービス過不足は全体はない。通所は少し余剰が多い。訪問系・看護小規模多機能は少し不足・不足、施設系は過不足なし。グループホームは少し不足ではないかだった。

○そもそも待機者がいて、空床もあるのにどうして入れないのですか。前回、人材確保について他市の例も参考にしたいとの回答でしたが、進展はありましたか。

回答：優先的に入れる人はある程度入れている。来年度新規事業で学生、若手の介護職員の意見聴取する介護人材確保の検討会を立ち上げ、課題の洗い直し、施策の検討をしたい。

意見：現在の人材確保事業は週 20 時間以上働くと補助対象になるが、それに拘らず対象を広げてほしい。※他、東京都介護職員宿舎借上げ支援事業等の資料を渡し情報提供する。

再回答：20 時間以上にしたのは正職を増やしたいからだが、対象を広げる検討をしたい。

○紙おむつの支給に関して、前回おむつ券の併用も検討可能かも、利用者の意向調査も、などの回答もありましたが、その後どうになりましたか。

回答：令和 4 年度までは現行システムで管理するので併用には改修が必要、その間に意向調査し検討したい。国より縮小の通知があり令和 3 年度から上限が 8→6 万円となる。

意見：支給実績は 672 万円ほどなので、システム改修までせずエクセルとかの計算でできませんか。意向調査はぜひしてほしい。

再回答：国は紙おむつ事業を令和 3 年度から地域支援事業から外す。市は 3 年間は実施する。支給するおむつの種類は多くしたい。

他、障がい者の避難施設、浜松市独自のコロナ対策、地域包括支援センターの人員増・充実強化、補聴器への補助等、質問、要望をしました。（居宅・加茂圭三）



ケアマネのコーナー連載 今回は「人生会議手帳」紹介

人生の終末期に受ける医療やケアを、家族や親しい人と相談すると良いです。元気なうちに考え、相談し、意思を書き留めておく手帳です。詳しくは浜松市のホームページをご覧ください。<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kourei/acp.html>

わたしの生きがい わたしがこれからしたいこと わたしが気がかりなこと 「こんな最期だったらいいな、こんな治療やケアを受けたいな」と感じたことは？ もし生きることの時間が限られていたら、大切なことはどんなこと？ 自分の考えや気持ちを伝えられなくなった時、代わりに治療やケアについて話し合ってもらう家族や友人は？ 痛みや苦痛はできるだけおさえてほしい？ 最期を迎えたい場所は自宅？病院？施設？点滴治療・中心静脈栄養法・経鼻経管栄養・胃ろう・心肺蘇生術・人工呼吸器・人工透析を希望されますか？ 、、、こんな項目を相談してこの手帳に書き留めます。

考えが変わった時は何度でも書き直して良いし、実際に終末期になった時は改めて医療者との話し合がされますのでご安心ください。（居宅・加茂圭三）